

1912 (明治45・大正1)年 —明治天皇崩御(7/29) —

(学友会誌第1号T 5/3 刊)

◆社会：タイテック号太平洋で沈没(4/14)。

米価騰貴—下層民生活困窮。自動車登録台数521台。

◇SPT：第5回ストックホルム五輪(7/6~7/14) —日本初参加。

◆本学：専門学校令による同志社大学に改正。

(同志社時報 号M45/ 刊)

大学発足に伴い大学野球部創部。

(校友会同窓会報(創立60年記念誌)S12 発刊)

蹴球にラグビー式を正式採用。(慶応、三高に次ぐ)

(校友会同窓会報(創立60年記念誌)S12 発刊)

◇本学テニス：庭球部—明治大学遠征軍と対戦。

夏季休暇中は明石で練習。(同志社時報 号M45/ 刊)

庭球部4—2花園学院に勝利(10/)。(同志社時報92号T1/10刊)

1913 (大正2)年

◆社会：帝國飛行協会設立(4/26)。

◇テニス：慶応義塾硬式球使用を表明(小泉信三が支持)。

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

清水善三(三井物産)がカッターハンカチ選手権で優勝。

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)(テニス技術百科S63刊)

◇本学テニス：庭球部—京都師範に大勝 対膳所中3—2

対滋賀師範3—2(5/)。

校内庭球大会の翌日招待校と対戦(五中、東山、農林、美術、東寺、染織、真宗、滋賀師範、平安、二中、八幡、一中、膳所、桃中、京都師範、東大、医学、弘大、神戸高商、三高、大高工、帝大)し、大阪毎日新聞社寄贈カッターを本学岩室・島崎組が獲得(5/)。(同志社時報99号T2/5刊)

庭球部遠征。対花園6—2、対明星商業(大阪)5—3、

対御影師範(六甲)5—2、対桃中全勝と快勝(5/)。

夏季練習は御影師範(六甲)コートで実施を時報記者は予告(5/)。

(同志社時報100号T2/6刊)

1914 (大正3)年

◆社会：第1次世界大戦へ参戦(日本—独に宣戦布告)(8/23~)。

パナ運河開通(8/15)。

◇テニス：硬球記録がスタート(熊谷一弥の大正3年

1/3~1/12のマラ庭球協会主催の東洋選手権)。

◇本学テニス：大学部庭球大会開催(庭球部古川・真野等が準備)(10/)。

(同志社時報105号T 3/12刊)

大学部秋季各校招待庭球大会開催(参加校23校T3/5参照)(11/)。

(同志社時報116号T 4/1 刊)

女学校庭球部、第1回3校対抗試合(同志社女・神戸女・梅花女

の為、神戸へ遠征(11/)。(同志社時報116号T 4/1 刊)

1915 (大正4)年

◆社会：単独不講和の日仏英伊露5ヶ国宣言に調印(11/30)。

◇SPT：第1回全国中等学校優勝野球大会(8/18~豊中)。

◇テニス：第2回極東選手権庭球大会(上海)。熊谷・柏尾複優勝、熊谷単優勝。(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂刊)

◆本学：学友会が大学学友会と普通部学友会に別れる(役員総会承認)。(同志社50年史S 5 刊)

◇本学テニス：大学庭球部、初回関学高等部定期戦(春秋2回)の為

神戸遠征3—5で敗戦。なお、大学庭球部創設尚浅く、本学

新コート建設中との記述あり(10/)。(同志社時報125号T 4/11刊)

大学庭球部、本校新設コートにて関学高等部定期戦2回戦をし、5—5引分る(11/)。(同志社時報126号T 4/11刊)

第14回大学庭球大会開催、招待校と試合(東京新設コート)(11/)。

1915 (大正4)年 <軟式>

【定期戦 第1戦】同志社 対 関西学院高等部

(10月 1日 関学)

同志社	3	—	5	関西学院高等部
×古川・磯部	1	—	3	星・柴田
×加藤・東根	1	—	3	星・柴田
×池田・安川	2	—	3	西田・萩原
○真野・中尾	3	—	0	西田・萩原
○真野・中尾	3	—	1	富本・白石
○橘・小島	3	—	2	佐藤・森田
×橘・小島	0	—	3	石本・丸山
×真野・中尾	0	—	3	石本・丸山

1915 (大正4)年 <軟式>

【定期戦 第2戦】同志社 対 関西学院高等部

(11月13日 同志社)

同志社	5	—	6	関西学院高等部
○池田・小島	3	—	2	星・柴田
×池田・小島	2	—	3	西田・萩原
○古川・東根	3	—	2	西田・萩原
○古川・東根	3	—	0	佐藤・森田
○加藤・徳川	3	—	0	富本・白石
○加藤・徳川	3	—	0	金森・中村
×橘・磯部	0	—	3	石本・丸山
×真野・中尾	1	—	3	石本・丸山
×原田・中	0	—	3	石本・丸山
×古川・東根	0	—	3	石本・丸山
×加藤・徳川	1	—	3	石本・丸山

1916 (大正5)年

◆社会：Aインシュタイン(独)一般相対性理論を発表。

◇SPT：第6回ドイツ五輪—中止(第1次世界大戦の為)。

◇テニス：東洋テニス選手権大会で熊谷単優勝。

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

◇本学テニス：普通学部構内庭球大会開催(2/ ~3/)。

(学友会誌第1号T 5/3 刊)

新年度より普通学部庭球部を大学庭球部から独立させる

(2/ ~3/)。(学友会誌第1号T 5/3 刊)

東寮・新図書館新コート2面は大学生用、運動場裏側の旧コート3面は普通部生徒用とする(2/ ~3/)。(学友会誌第1号T 5/3 刊)

庭球部監督末広教師、理事(大)真野吉之助、(普)池田利郎

(学友会誌第1号T 5/3 刊)

中学庭球部、大学部より独立し(前普通部)グラウンド東南隅の3面を占用し練習開始。(同志社時報133号T 5/7 刊)

6月構内大会開催、同時に来賓試合開催(参加教員—吉岡・浅野・杉原・前窪・古谷)。(同志社時報133号T 5/7 刊)

大学庭球部、10月校内大会開催(東寮コート)なお、番外で教授戦実施(参加—古谷・園・蜷川・藤谷)(10/)、11月招待庭球部大会

(東寮コート)25校招待し開催(11/)。(同志社時報 号T 5/11 刊)

女学校(同志社女、神戸女、梅花女)第2回3校対抗試合本校

にて開催。(同志社時報139号T 6/2 刊)

1917 (大正6)年

◆社会：ロシア革命(10月革命)(11/6)。

◇本学テニス：大学庭球部、一中、高等染業に勝利。真野、東岡氏

卒業は痛手との記述あり(5/)。(同志社時報 号T 6/7 刊)

女学校(同志社女、神戸女、梅花女)第3回対抗試合梅花にて開催(5/)。(同志社時報 号T 6/7 刊)

1917 (大正 6) 年 <軟式>

【定期戦 第1戦】 同志社 対 関西学院高等部 (10月20日)

○ 同志社 スコア不明 関西学院

1917 (大正 6) 年 <軟式>

【定期戦 第2戦】 同志社 対 関西学院高等部 (11月 5日)

○ 同志社 スコア不明 関西学院

1917 (大正 6) 年 <軟式>

【定期戦 第1戦】 同志社 対 関西学院高等部 (10月20日)

○ 同志社 スコア不明 関西学院

1917 (大正 6) 年 <軟式>

【定期戦 第2戦】 同志社 対 関西学院高等部 (11月 5日)

○ 同志社 スコア不明 関西学院

1918 (大正 7) 年

◆社会:米騒動(8/3 富山県下一漁村~全国へ拡大)。

◇本学テニス:大学庭球部校内大会開催。番外で教授戦実施。

招待庭球部大会開催(25校招待)(10/ ~11/)。(同志社時報 13! 号T 5 刊)

女学校第2回3校対抗試合実施(同女、神戸女、梅花)

(同志社時報 号T 5 刊)

1918 (大正 7) 年 <軟式>

【定期戦 春】 同志社 対 関西学院高等部 (5月14日 関学)

×	同志社	0 - 6	関西学院高等部
×	近藤・木原	0 - 3	朝長・小林
×	水谷・黒川	1 - 3	朝長・小林
×	柚木・水島	0 - 3	瀬尾・三島
×	樽村・高山	0 - 3	瀬尾・三島
×	吉川・中尾	2 - 3	波江野・吉田
×	諏訪・深山	0 - 3	波江野・吉田

(関学不戦組)

小野・神崎・片岡

笹田・福谷・中村

1918 (大正 7) 年 <軟式>

【定期戦 秋】 同志社 対 関西学院高等部 (10月26日 京都)

×	同志社	3 - 5	関西学院高等部
○	吉川・中谷	3 - 0	瀬尾・神崎
×	吉川・中谷	1 - 3	朝長・小林
×	池田・石丸	0 - 3	朝長・小林
×	近藤・宮川	0 - 3	小野・三島
○	柚木・水島	3 - 2	小野・三島
○	柚木・水島	3 - 2	片岡・笹田
×	森川・直井	0 - 3	波江野・中村
×	柚木・水島	0 - 3	波江野・中村

1919 (大正 8) 年

◆社会:道路法公布(4/11)。パリ講和会議(4/30)。

◇テニス:テニスクラブでノースリーブ出現。(テニス技術百科 S63 刊)

◆本学:ラグビー部大学と中学に別れる(9/)。

(校友会同窓会報(創立60年記念誌)S12 発刊)

◇本学テニス:

1919 (大正 8) 年 <軟式>

【定期戦】 同志社 対 関西学院高等部 (5月24日)

×	同志社	2 - 6	関西学院高等部
×	近藤・石丸	1 - 3	朝長・小林
×	野田・白藤	0 - 3	朝長・小林
○	吉川・木原	3 - 2	藤田・早見
×	吉川・木原	1 - 3	瀬尾・河内
×	竹原・丸山	1 - 3	瀬尾・河内
○	柚木・水島	3 - 1	木曾・松本
×	柚木・水島	1 - 3	小野・神崎
×	金沢・猪川	1 - 3	小野・神崎

1920 (大正 9) 年

◆社会:国際連盟発足(1/10)。

◇テニス:第7回アンダーフーズ五輪(8/15~8/20)。日本人初のメダル獲得、銀(単)熊谷一弥 銀(複)熊谷一弥・柏尾誠一郎組。

ウィングルトン決勝 清水善造、フルトンに惜敗(11/)。

第1回全国硬式庭球大会開催(大阪豊中テニスクラブコート)(11/)。

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊 テニス技術百科 S63 刊)

◆本学:大学令による大学発足(予科、文学部、法学部、大学院)、また専門学校令による大学は専門学校と改称。

(同志社時報 号T 9/12 刊)

◇本学テニス:大学庭球部9月 対立教戦3勝 10月 対臨済宗大3勝 東洋大4勝。以上本校、10月大阪歯科医専、大阪高等工、三高、京都高等工芸とつ対戦し連勝(竹原、白藤、金沢、猪川、鈴鹿、寺内、古座谷、木原、吉川、水島、河辺、丸川)。

(同志社時報 号T 9/12 刊)

【同志社大学庭球部創設(硬式)】

①T 9年説(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

②T 10年説(「同志社大学硬式庭球部の歩み」田村英成(H 5))

③T 11年説(「同志社スポーツの歩み一年表」1960 刊)

④T 12年説(「OBOG通信 平成14年3月」テニス部OB会)

1920 (大正 9) 年

【対抗戦】 (9月 日 同志社)

○ 同志社 3 - 立教大

1920 (大正 9) 年

【対抗戦】 (10月 日 同志社)

○ 同志社 3 - 臨済宗大

1920 (大正 9) 年

【対抗戦】 (10月 日 同志社)

○ 同志社 4 - 東洋大

1920 (大正 9) 年

【対抗戦】 (10月 日)

○ 同志社 - 大阪歯科医専

○ 同志社 - 大阪高等工

○ 同志社 - 京都高等工芸

○ 同志社 - 京都三高

(同志社メンバー) 竹原 白藤 金沢 猪川 鈴鹿
寺内 古座谷 木原 吉川 水島 河辺 丸山

(同志社スポーツ野歩み 1960年刊)

同志社高商主催第一回全国中学校庭球大会開催
(78校参加)(10/)。 (同志社時報 214号 T12/12 刊)

<硬式>

1921(大正10)年

◆社会:メトル法の国際条約に調印(10/6)。

◇テニス:関西専門学校庭球連盟結成。

デ杯初参加(ニューヨーク)(熊谷一弥・清水善造)(9/2)。

決勝戦日本(熊谷・清水)対米国

(帰国後、熊谷・清水、東京・大阪で模範試合開催。

(原田、鳥羽、福田、安部、大田などと対戦)

東都学生庭球連盟 第1回 春季対抗戦又 秋トーナメント開催。

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

第1回【毎日硬式庭球日本選手権】

【第1回 大阪毎日新聞庭球大会】(10/16~豊中)

◇本学テニス:

1921(大正10)年

第1回【毎日硬式庭球日本選手権】(【毎日庭球選手権】)

本戦(10月16日~ 豊中)

予選(男子シングルス)(9月23日~)

▽1回戦

近藤 (同大) 3-6 7-5 1-6 朝長 (関学)

1922(大正11)年

◆社会:未成年者飲酒禁止法公布(3/30)。

刑事訴訟法公布(5/5)。官公・私立大学の設立許可続出。

◇テニス:日本庭球協会設立(3/)。

第1回【関西庭球選手権】(7/16~7/24 豊中)

(男子シングルス)(B-) (男子ダブルス)(B-)

第1回【全日本庭球選手権】(8/9~8/15 帝大)

(男子シングルス)(B-63) (男子ダブルス)(B-26)

福田-優勝 (男S)(B-63)(男W)(B-26)

KS杯(東西対抗)開催-庭球協会主催

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊 テニス技術百科 S63 刊)

◆本学:専門学校(神学部、英語師範部、高等商業部、政治経済部)と改正。4月高商部設立により高商部学生会分離独立。

(同志社50年史 S5 刊)

◇本学テニス:アモスト学生代表フェルト・パートナー・コンス来日(1924 帰国)。

英語クラブ、庭球部、野球部等のコーチをする。

八星選手など交流する。(同志社50年史 S5/ 発刊)

1922(大正11)年

【全日本庭球選手権】第1回

(8月9日~15日 帝大)

(男子シングルス)(男子ダブルス)

1923(大正12)年

◆社会:関東大震災(9/1)。

◇テニス:【日本庭球協会関西支部大会】(豊中コート)。

第1回【関西庭球選手権】(女子の部)(4/21~4/23 中山)

(女子シングルス)(B-) (女子ダブルス)(B-)

第2回【関西庭球選手権】(男子の部)(8/26~ / 豊中)

(男子シングルス)(男子ダブルス)

◇本学テニス:コンス シェイパリ(1907 年来日(1909 講師 1915 神学部教授)

1941 年帰国)、ホル向教授が庭球部指導。(ボール1個17円、

バットでネットボール入手。コートは大学図書館東側2面使用)

1923(大正12)年

【全日本庭球選手権】第2回

(11月19日~27日 豊中・築港)

(男子シングルス)(B-89)

▽1回戦

鵜飼貫三郎(同大) 6-8 4-6 1-6 野村 (一橋大)

1923(大正12)年

【全日本庭球選手権】第2回

(11月19日~ 日 豊中築港)

(男子シングルス)

▽1回戦

鵜飼貫三郎 6-8 4-6 1-6 野村 (一橋大)

1924(大正13)年

◆社会:東京放送局設立(1/29)。

◇SPT:第1回 冬季五輪 シンポ大会(1/25~2/5)。

第8回 バリ五輪(7/5~7/13)

◇テニス:関西専門学校庭球連盟結成。

第1回【全日本庭球選手権】(女子の部)

(5/31~6/1 東京LC) (女S)(B-19)(女W)(B-10)

早慶対抗庭球大会復活

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂刊)

◆本学:同志社大学体育会設立発会式開催(10/)。

(本学学友会運動各部部員で組織)。(同志社時報 224号 T13/11 刊)

◇本学テニス:記者中村の記①4月大毎オールジャパン-関西レッジトーナメント

→オール京都オープントーナメント→関西トーナメント→関西レッジオープントーナメント。

②往年球界に覇を称せし「ゴールドエイジ」の喜びもいつか、近き未来に再させずは止まざる勢を以て進みつつある庭球部。

③八星君は射延君と共に同志社庭球部の花だ。関西レッジオープントーナメントに際し京医大小田に窮地より挽回し堂々と破った。

④八星・射延組は関西レッジオープンでベスト4(6-8 4-6)で神戸高商に惜敗。⑤鵜飼、泉、豊村、下級生岸本、川廷、岩藤を紹介。

(同志社時報 227号 T14/2 刊)

1924(大正13)年

◆社会:東京放送局設立(1/29)。

◇SPT:第1回 冬季五輪 シンポ大会(1/25~2/5)。

第8回 バリ五輪(7/5~7/13)

◇テニス:関西専門学校庭球連盟結成。

第1回【全日本庭球選手権】(女子の部)(5/31~6/1 東京LC)

(女S)(B-19)(女W)(B-10)

◇本学テニス:

1924(大正13)年

第1回【全日本庭球選手権】(女子の部)(5/31~6/1 東京LC)

(女子シングルス)(B-19)(女子ダブルス)(B-10)

1924(大正13)年

【大毎オールジャパン庭球選手権】第3回(【毎日庭球選手権】)

(4月5日~22日 神崎川・豊中・築港)

(男子シングルス)(男子ダブルス)

1924(大正13)年

【関西レッジオープン庭球トーナメント】

(月 日 ~)

(男子ダブルス)

▽準々決勝

八星・射延(同大) 6-8 4-6 栗村・中村(神戸高商)

1924 (大正13) 年

【全京都オープン庭球トーナメント】

(月 日 ~)

(男子シングルス) (男子ダブルス)

1924 (大正13) 年

【関西支部庭球トーナメント】

(8月22日 ~ 豊中)

(男子シングルス)

▽3回戦

泉 (同大) 4-6 6-2 2-6 辰馬 (関学)

1925 (大正14) 年

◆社会：ラジオ放送開始(3/22)東京放送局 JOAK

京都府警察部-社会科学連合会に加入する
同大・京大等の学生33人検挙(学連事件)。

◇テニス：大阪毎日新聞社米国庭球選手3名招聴模範試合実施(4/)。

第7回 極東選手権大会(マニラ)庭球優勝。

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

関西専門学校庭球連盟結成。

第1回【関西学生庭球選手権】(11/8~)

◇本学テニス：京都大学高等専門学校オープントーナメント八星・射延組優勝。

ベスト4に2名入る(後輩が名文で優勝の感激の手記)(4/)。

(同志社時報232号T14/7 刊)

1925 (大正14) 年

第1回【関西学生庭球選手権】(11/8~)

(男子シングルス) (B-) (男子ダブルス) (B-)

1925 (大正14) 年

【京都大学高等専門学校オープン庭球トーナメント】

(4月 日 ~)

(男子ダブルス)

▽決勝 八星・射延(同大) <優勝>

1925 (大正14) 年

【全日本庭球選手権】第4回

(10月16日~20日 三年町)

(男子シングルス) (B-62)

▽1回戦

射延 治郎(同大) 1-6 1-6 1-6 杉村 (神崎川)

八星 徳逸(同大) 1-6 0-6 0-6 関沢 (大阪ク)

(男子ダブルス) (B-60)

▽1回戦

八星・射延(同大) 2-6 2-6 3-6 川上・高田(明治大)

1926 (大正15・昭和1) 年 一大正天皇崩御(12/25) -

◆社会：アムペン大佐一飛行船『ノルマ号』北極横断成功。

◇テニス：デビスカップ-北米ゾーン優勝(原田、俵等)。

原田は米ランキング3位。インターゾーンに敗退。

原田はロシア・コシエに勝。

(今村嘉雄編「体育史資料年表」不味堂書店刊)

第1回【関西学生大学対抗庭球トーナメント】

◇本学テニス：京都学生庭球連盟-秋季リーグ-07-2三高(泉・田村・篠瀬・沖・射延・川廷・沖・篠瀬・田村・川廷・泉・射延)、07-2龍大(古川・大畑・篠瀬・沖・射延・川廷・古川・岸本・沖・篠瀬・泉)、予科チーム(篠瀬・沖・古川・大畑) 05-0立命大、03-2大谷大、優勝戦(古川・大畑・篠瀬・沖・射延・川廷・古川・沖・篠瀬・川廷・泉) 06-3京都高織を連覇し、京都専門学校を制覇。(泉・田村・篠瀬・沖・射延・川廷・古川・大畑など)

(同志社新聞2号S2/ 刊)

1926 (大正15・昭和1) 年

第1回【関西学生大学対抗庭球トーナメント】(/ ~ /)

1926 (大正15・昭和1) 年

【関西学生庭球選手権】第2回

(9月17日 ~)

(男子シングルス)

▽5回戦

射延 治郎 6-3 6-4 井上 (関学)

▽準々決勝

射延 治郎 2-6 1-6 中村(文)(関学)

(男子ダブルス)

▽準々決勝

篠瀬・沖 4-6 4-6 中村・井上(関学)

田村・望月 0-6 1-6 佐藤・秋元(関学)

射延・川廷 2-6 3-6 川上・遠藤(京大)

1926 (大正15・昭和1) 年

【全京都学生庭球連盟秋季リーグ戦】

(10月 日 ~)

○同志社 7 (複3-0 単4-2) 2 三高

(ダブルス)

○泉・田村 6-3 6-4 鈴木・水口

○篠瀬・沖 6-4 6-3 大本・四本

○射延・川廷 6-1 6-0 天川・大原

(シングルス)

○沖 6-0 6-2 水口

○篠瀬 秀雄 6-3 6-3 鈴木

×田村豊三郎 1-6 2-6 四本

○川廷善一郎 6-3 6-4 大本

×泉 0-6 4-6 大原

○射延 治郎 6-1 6-1 天川

○同志社 7 (複3-0 単4-2) 2 龍谷大

(ダブルス)

○古川・大畑 6-3 6-3 岡・波北

○篠瀬・沖 6-3 7-5 寺尾・明山

○射延・川廷 8-6 7-5 島田・上司

(シングルス)

○古川直二郎 6-2 6-3 岡

×岸本 秀夫 1-6 7-5 3-6 波北

○沖 9-7 6-3 明山

×篠瀬 秀雄 6-4 3-6 3-6 寺尾

○泉 6-3 2-6 6-1 島田

○射延 治郎 棄権 土可

○予科 5 (複 単) 0 立命大

(ダブルス)

(シングルス) 大畑 古川 沖 篠瀬

○ 予科 3 (複 単) 2 大谷大

(ダブルス)

(シングルス) 大畑 古川 沖 篠瀬

▽決 勝〈優 勝〉

○ 同志社 6 (複 1-2 単 5-1) 3 京都高専

(ダブルス)

×古川・大畑 3-6 2-6 山田・高井

×篠瀬・沖 6-3 3-6 4-6 石崎・川畑

○射延・川延 6-0 6-3 今村・石川

(シングルス)

○古川直二郎 6-3 6-1 石川

×沖 6-0 8-6 山田

○篠瀬 秀雄 6-3 6-0 川畑

×川延善一郎 1-6 6-8 石崎

○泉 6-3 6-4 高井

○射延 治郎 6-4 8-6 今村

(以上 同志社新聞 第 2 号)